コマース業界における
脅威トレンドの分析

コロナ禍を乗り越えたコマース業界における継続的なデジタル化の取り組みは、ビジネスの成長を牽引していますが、境界や顧客に対するセキュリティリスクも伴います。

コマース組織に対する攻撃

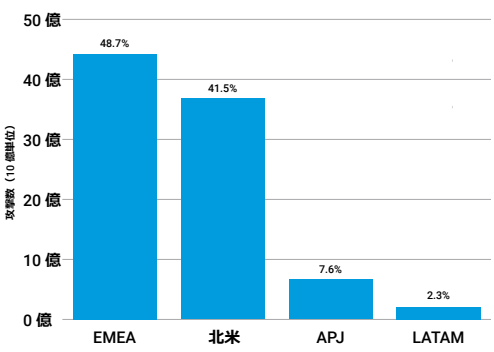
140 億以上

コマース業界に対する Web アプリケーション攻撃と API 攻撃の数

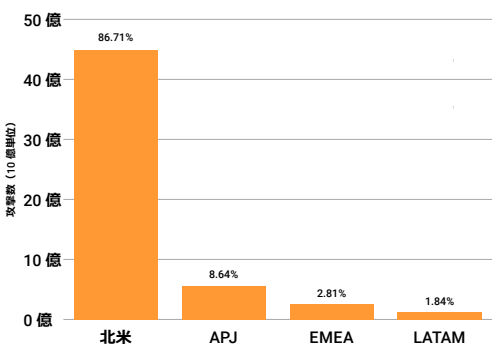
314%

2021 年第 3 四半期から 2022 年第 3 四半期におけるローカル・ファイル・インクルージョン（LFI）攻撃の増加率

サーバーサイド・リクエスト・フォージェリ（SSRF）やサーバーサイド・テンプレート・インジェクション（SSTI）などの新たな攻撃ベクトルは、コマース業界やその他の業界には重大な脅威となります。こうした攻撃による潜在的な影響と損害によって、データ窃取やリモートコード実行につながるためです。



小売業界に対する Web アプリケーション攻撃と API 攻撃の数で、ヨーロッパ・中東・アフリカ（EMEA）地域が北米を上回りました。



ホテル・旅行業界に対する Web アプリケーション攻撃と API 攻撃の数では北米が首位に立ち、次いでアジア太平洋・日本地域（APJ）が多くなっています。

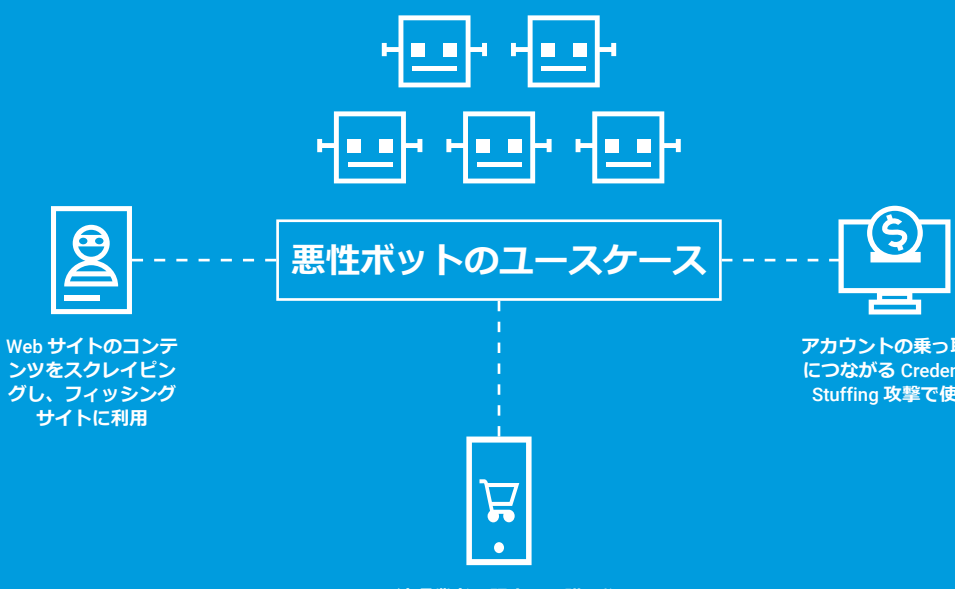
コマース業界の顧客に対する攻撃は継続

30.2%

コマースブランドを模倣したフィッシングキャンペーンの割合（2023 年第 1 四半期）

5 兆以上

悪性ボットリクエスト数（2022 年 1 月～2023 年 3 月）



コマース業界における攻撃の傾向に関する詳細と知見については、レポートの全文をお読みください。

レポートの全文をダウンロード